

2024 年度「道場わっしょい！」in 愛媛 要項

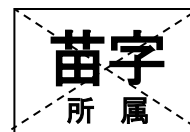
大会名	2024 年度「道場わっしょい！」in 愛媛
テーマ	「親子の絆」、「柔道の本質」、「道場の発展」
目的	柔道を通じて親子の絆を深め、道場間の交流をはかるとともに、柔道の楽しみを見出し少年柔道の普及・発展に寄与することを目的とする
大会スケジュール	<p>○令和 6 年 9 月 28 日（土）</p> <p>14:00 柔道教室受付</p> <p>15:00 柔道教室（小道場）</p> <p>○令和 6 年 9 月 29 日（日）</p> <p>08:30 開場・受付</p> <p>09:25 オープニングセレモニー</p> <p>09:30 開会式</p> <p>09:45 準備体操 JSPO-ACP</p> <p>10:00 競技説明</p> <p>10:15 低学年の部 リーグ戦</p> <p>12:00 低学年の部 表彰式・記念撮影（チームごとに撮影）</p> <p>13:00 高学年の部 リーグ戦</p> <p>14:45 高学年の部 表彰式・記念撮影（チームごとに撮影）</p> <p>15:15 閉会式</p> <p>※柔道教室のみ、または大会のみの参加も可</p>
会場	愛媛県武道館（愛媛県松山市市坪西町 551）
主催	公益財団法人全日本柔道連盟
共催	一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会
主管	一般財団法人愛媛県柔道協会
後援	四国柔道連盟、愛媛県、愛媛県教育委員会、松山市、松山市教育委員会、公益財団法人愛媛県スポーツ協会、公益財団法人愛媛県スポーツ振興事業団、公益財団法人松山観光コンベンション協会、愛媛新聞社、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ（※予定）
協力	公益財団法人日本スポーツ協会
参加申込締切	令和 6 年 8 月 23 日（金）
申込方法	<p>先着順とし、参加限度数を超えた時点で受付終了とする</p> <p>申込は申込書（Excel ファイル）に必要事項を記入の上、下記メールアドレスへ提出すること</p> <p>Mail : projectdev@judo.or.jp</p> <p>（申込用紙は全日本柔道連盟公式ホームページより）</p> <p>◎問い合わせ先 全日本柔道連盟 新事業開発室 TEL 03-3818-4688</p>
参加資格	<p>全日本柔道連盟に道場登録している道場に所属しているものとその家族、友人（最大 48 チーム）</p> <p>※混合チーム、家族・友人は未経験者も可とする</p>
チーム編成	<p>1 チーム 4 名～7 名の小学生と出場選手の保護者又は道場指導者で構成する（5 名～8 名）</p> <p>1 人が出場できる種目は 2 種目までで、大将は、出場選手の保護者又は道場指導者がペアで出場する</p> <p>【低学年の部】小学 1 年生 ～ 3 年生までの者とその保護者、友人</p> <p>【高学年の部】小学 4 年生 ～ 6 年生までの者とその保護者、友人</p> <p>※ただし高学年の人数が満たない場合、低学年が高学年の部に出場することは可（五将・副将戦は参加不可）</p>

2024 年度「道場わっしょい！」in 愛媛 要項

イベント内容	<p>団体戦は、先鋒から大将まで以下の種目をリーグ戦方式で行う。</p> <p>【先鋒】 受身コンテスト（前・後・左・右・前方回転）</p> <p>【次鋒】 寝技補強レース（A えび・逆、B 肩歩き・逆、C横えび・逆）</p> <p>【五将】 ACP（A ひよこの戦い、B しっぽ取り、C おび取り）</p> <p>【中堅】 打込みコンテスト（A背負投、B内股、C大外刈）</p> <p>【三将】 形コンテスト（A背負投、B払腰、C送足払）</p> <p>【副将】 柔道対戦（A立技、B寝技、C立技・寝技）</p> <p>【大将】 親子ペアレース（Aおんぶ・手押し車、B片足跳び・手押し車、Cサイドステップ・手押し車）</p> <p>※高学年の部は、試合ごとにA～Cを抽選で決定し、低学年の部は、すべてAで行う</p> <p>※中堅・三将は、同じチームの選手が受けを行う</p> <p>※中堅・三将・副将は、柔道経験が1年未満の者は出場できない</p>
団体戦進行方法	<p>団体戦はリーグ戦とする。試合は4試合場にて行い、全ての試合進行を同時に行う</p> <p>先鋒の返事・礼法・受け身コンテストは、返事一声の大きさと切れの良さ、礼法一形と間、受け身一柔らかさと形を採点の基準とする</p> <p>次鋒の返事・礼法・寝技補強レースは返事一声の大きさと切れの良さ、礼法一形と間、寝技補強レース一形とスピードを採点の基準とする</p> <p>五将は JSP0_ACP の種目を適用する</p> <p>A ひよこの戦いでは、礼法後に、両者ともにしゃがんだ姿勢で自身の足首をつかむ。審判員の「はじめ」の合図で、お互い歩み寄り体と体でぶつかり合う。足首から手が離れるもしくは倒れたら決着となる。制限時間1分間で決着が着かない場合は、じゃんけんにより必ず勝敗をつける。なお、足首をつかんでいる手が離れたり、倒れそうになったり、置に手を着いてしまった場合は負けとなる。</p> <p>B しっぽとりでは、お互い帯もしくはズボンに赤白帯をつける。礼法後に両者ともに右手で握手をし、審判員の「はじめ」の合図で相手の赤白帯をとる。制限時間1分間で取った方が勝ちとなる。制限時間内で決着がつかない場合は、じゃんけんにより必ず勝敗をつける。</p> <p>C おび取りでは、礼法後に審判員が中央に赤帯を配置し、選手をおびの両端に対曲線になるように配置する。審判員の「はじめ」の合図で選手はステップ開始、審判員は選手のステップ中に「あたま」、「おなか」、「みぎうで」など触れる位置を指示する。選手は審判員の指示に従い瞬時に部分を触れながらステップを継続させる。最後に審判員が「おび」と言ったら、ダッシュでおびを取りに行く。先におびを取った選手の勝ちとする。両者同時におびを取った場合は一度だけ再戦をする。二度続けて同時の場合は「じゃんけん」にて勝敗を決する。</p> <p>中堅の打込みコンテストは、技ごとに「くずし→つくり→形」をスムーズにできているかを採点の基準とする。</p> <p>副将の柔道の試合時間は立技・寝技ともに2分の流しとし、時間内に決着がつかなかった場合は判定にて優劣を決する</p> <p>A. 立技のみの試合の場合は、通常の試合に準じて行い、B. 寝技のみの場合は、礼法後、両膝立ちで向かい合い、組み合った状態から開始する。</p> <p>※三将の形コンテストは、お互いに座礼を行い→左右の技を披露し→お互いに座礼を行うまでの、礼法や動きの所作、技の正確さ・切れ・迫力などを総合的に勘案し、判定にて優劣を決する。</p> <p>副将・大将は、それぞれの種目で勝ち負けを決定する</p>
表彰	<p>各リーグで1位となったチームを表彰する</p> <p>各リーグで1チーム「Best of わっしょい！」を表彰する</p> <p>※出場選手、ならびに保護者・指導者が、大会の趣旨に則り、礼儀正しく最高に盛り上げ、楽しんだチームを表</p>

2024 年度「道場わっしょい！」in 愛媛 要項

ゼッケン	<p>彰する（選考は各試合場スタッフからの推薦により主催者が決定する）</p> <p>(1) 各自で下記のとおりで縫い付けること</p> <p>(2) 布地は白色（晒太綾）で、サイズは、横 30cm～35cm、縦 25cm～30cm</p> <p>(3) 上部 2/3 に苗字、下部 1/3 に所属名を表記する</p> <p>書体は楷書で、ゴシック体または明朝体を用いること</p> <p>(4) 男子は黒字、女子は赤字とする</p> <p>(5) 縫い付けの場所は後襟から 5～10 cm 下部とし、対角線にも強い糸で縫い付けること</p> <p>※未経験者は柔道衣を着用しなくても参加可能</p>
ID カード	<p>(1) 会場への入場は入場 ID カードを持っている者だけに制限する。なお、ID カード発行は次のとおりとする</p> <p>①選手</p> <p>②指導者（監督・コーチ） 1 チームにつき 2 枚</p> <p>(2) 当日の開館は 8:30 であるが、主催者の指示に従うこと</p> <p>(3) 持ち物には必ず記名し、貴重品は各参加団体が責任をもって管理すること</p> <p>(4) 健康に不安のある人は、保護者・道場指導者とで検討し棄権すること</p> <p>(5) 皮膚真菌症（トンスランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること</p> <p>感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと</p> <p>選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある</p> <p>(6) 脳震盪について</p> <p>①大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること</p> <p>②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする</p> <p>（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精密検査を受けること）</p> <p>③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること</p> <p>(7) 競技の特性上、責任ある者が付添い、引率者（指導者もしくは保護者）がいない場合は出場を認めない</p>



〈免責事項〉

- 主催者は、選手に対する傷害保険に加入すると共に、試合場に医師を配置し大会開催中の事故、傷病等の応急処置を行う。なお各道場にて必ず公益財団法人全日本柔道連盟への選手登録、申請を行うこと。
- 大会会場への往復中の事故・地震・風水害・降雪・事件については、主催者は一切責任を負いません。交通安全には十分注意のうえ、ゆとりを持って行動すること。また諸事情により大会が中止となった際の準備、移動などに関わる費用については、主催者は責任を負いません。
- 参加申込書に記載された個人情報、イベント中に撮影された写真、または動画等の映像が、柔道教室内外の掲示板等、全柔連ホームページ、ユーチューブチャンネルに掲載される場合がある。また、その他の報道機関等により新聞、雑誌、テレビ局等の企業により、イベントを撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。提出された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。参加申込書の提出により、個人情報、肖像権についての上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。
- 主催者は、上記の申込規約の他、各大会規約に則って開催する。